



**64** シリーズ

インテリジェントインバータ

---

# PCツールマニュアル

---

64シリーズ  
トレンドモニター  
取り扱い説明書

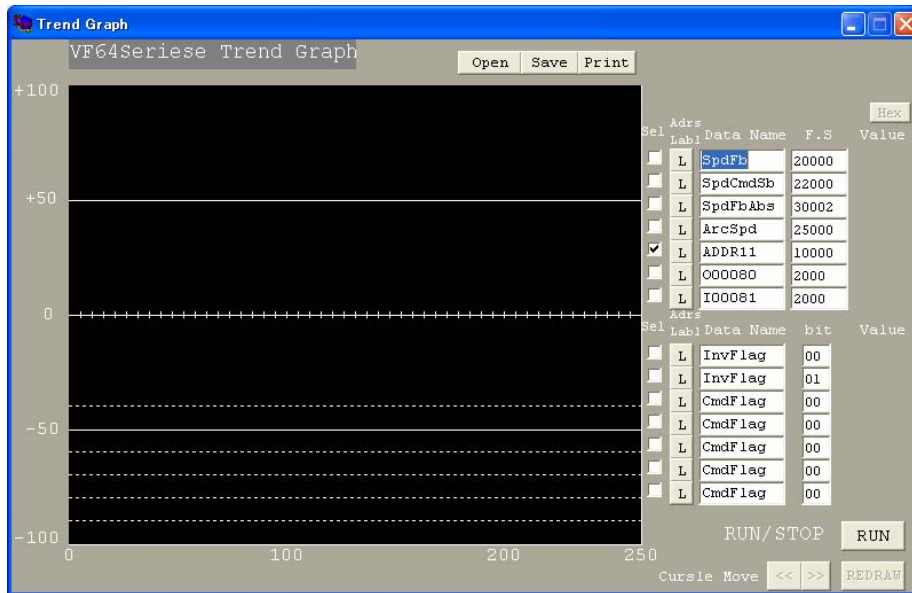
## 目次

1. 概要	3
2. 起動画面	3
3. メインメニュー	3
4. 画面	3
5. 表示変数の設定	4
6. トレンドの開始	5
7. 再描画	6
8. データをファイルに保存	6
9. ファイルを開いて表示	6
10. 印刷	6
11. 通信設定	6
12. 終了	6

## 1. 概要

トレンド機能は、パソコンによりVF64の電流や電圧などの内部変数の瞬時データをリアルタイムにグラフ表示するものである。また、そのデータを保存し、また再度読み込み表示したり、印刷したりすることができます。

## 2. 起動画面



## 3. メインメニュー

ツールバー	メニュー	機能
File (F)	Exit (X)	VF64トレンドソフトを終了します。
Display (D)	VarList (V)	表示できる変数、データのリストです。
System (S)	CommPort (C)	通信ポートを設定します
Help (H)	About (A)	バージョン情報等を表示します。

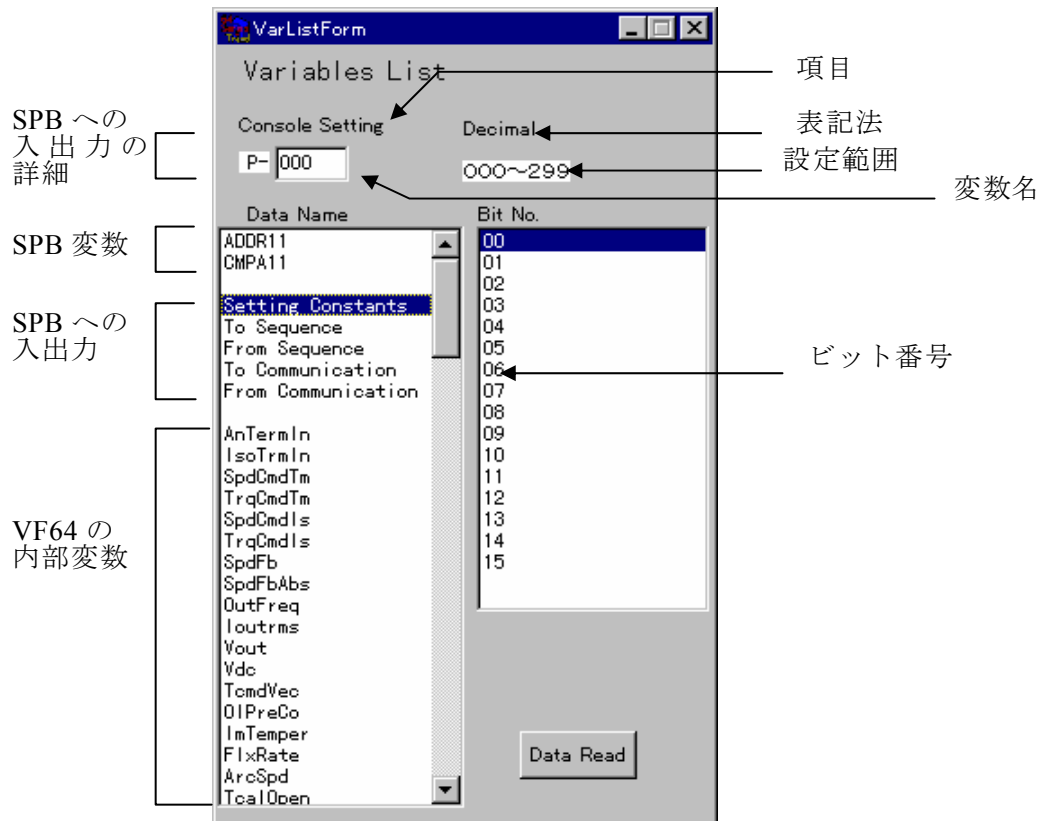
## 4. 画面

画面	機能
TrendForm	メインメニュー
TrendDspForm	VF64Seriese Trend Graph グラフ画面 表示する変数やスケールリングを設定し、リアルタイムデータを表示する画面です。
VarListForm	変数参照。 表示できる変数のリストです。この表から変数名を選択します。
Comm Set	通信ポートを指定します。
Version	バージョン情報等を表示します。

## 5. 表示変数の設定

### 1) 変数リストの表示 (Variables List)

メインメニュー [Display] → プルダウンメニュー [VarList] にて、変数参照画面が表示されます。



上画面が表示された直後は、SPB 変数は表示されてません。

VF64 が接続されている状態で、ボタン “Data Read” をクリックすると、VF64 から変数名が読み込まれ、SPB 変数も上図のように表示されます。

### 2) 変数データ

本画面で選択されている（カーソル位置の）データがグラフ画面の “Data Name” に入力されます。変数データには次のものがリストされています。

#### (1) SPB 変数

SPB 機能の SPB の出力です。

#### (2) SPB 機能への入出力

##### (a) 設定定数 (Setting Constants)

SPB の制御定数を設定するコンソール番号を指定します。

変数名は、“P-x x x” で表されます。

左側の表の “Setting Constants” をクリックすると、表上部に入力部が表示されます。

“x x x” を指定してください。

##### (b) シーケンスへ、シーケンスより (ToSequence、FromSequence)

シーケンス機能への入出力信号を指定します。

変数名は、シーケンスへの変数は“I 0 0 x x x、

シーケンスからの変数は“O 0 0 x x x”で表されます。

左側の表の“ToSequence”、“FromSequence”をクリックすると、表上部に入力部“I 0 0”または、“O 0 0”が表示されます。その右側の欄にx x xを入力します。

(c) 通信へ、通信より (To Communication, From Communication)

通信オプションへの入出力信号を指定します。

変数名は、通信オプションへの変数は“t J - x x、

通信オプションシからの変数は“f J - x”で表されます。”

左側の表の“To Communication”、“From Communication”をクリックすると、表上部に入力部“t J -”または、“f J -”が表示されます。その右側の欄にx x、またはxを入力します。

3) 表示データの設定

グラフ画面右部の欄により表示データの設定を行います。

(1) “Data Name”

この欄をダブルクリックすると、その時点で変数参照上のカーソルが示す変数が、ダブルクリックした欄に設定されます。

ビット部の設定では、変数名とビット番号が組で設定されます。

(2) “F. S”

グラフのフルスケール値を入力します。

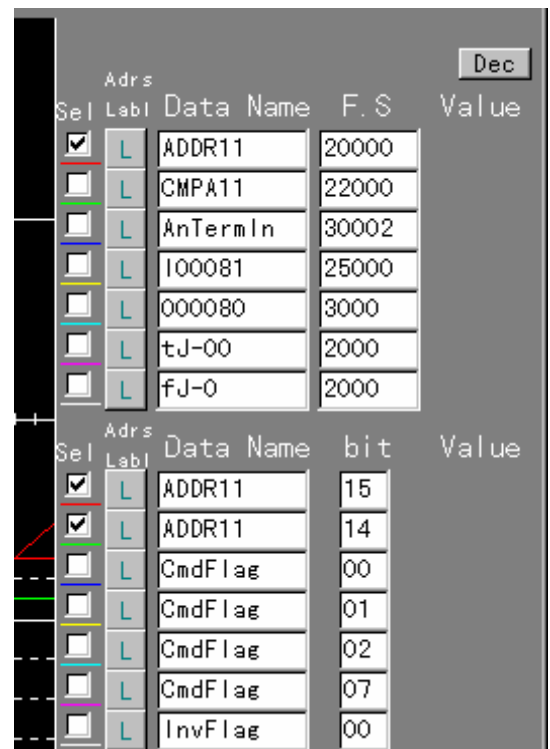
(3) “Adrs Label”

通常は“L”が表示された状態で使用します。

表示したい変数のアドレスが判明している場合には、“Data Name”はアドレスでも指定できます。その際には“Adrs Label”の小ボタンをクリックし、“A”が表示させます。

(4) “Sel”

この欄にチェックマークされているものだけ、グラフに表示されます。



6. トレンドの開始

グラフ画面下部の“RUN” ボタンをクリックすることによりグラフの掃引が開始されます。

“RUN” ボタンをクリックすると、グラフの掃引、停止が交互に行われます。

注) 一度“Read Data”を実行しないとトレンドは開始されません。”RUN”ボタンがアクティブになっていない場合、変数参照画面にて、“Read Data”をクリックし、VF64 から変数名を読み込んでください。



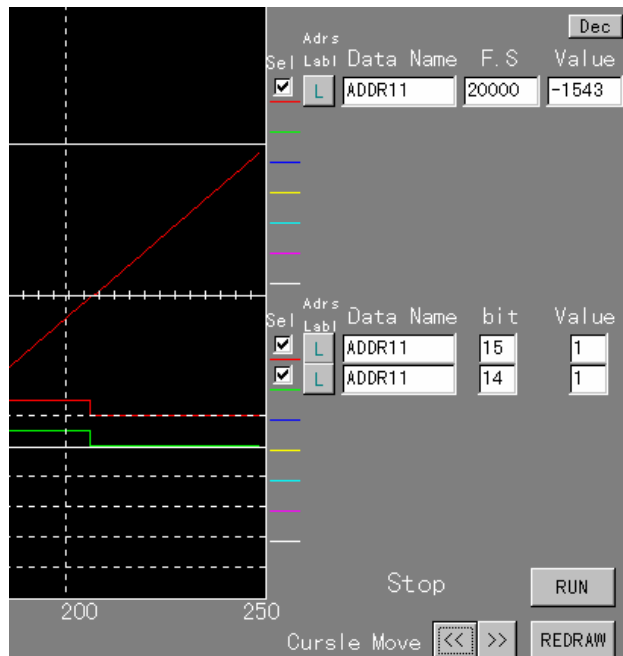
## 7. 再描画

掃引停止中に、“REDRAW” ボタンをクリックすると、それまで画面に表示されていたグラフデータの最後の1画面分が、表示されます。

また、グラフ上にカーソル、設定欄の右側に“Value”欄が現れ、カーソルがあるポイントのデータを表示します。

設定欄右上のボタンにより、データの表示形式を10進”Dec”と16進”Hex”とを交互に切り替えることができます。

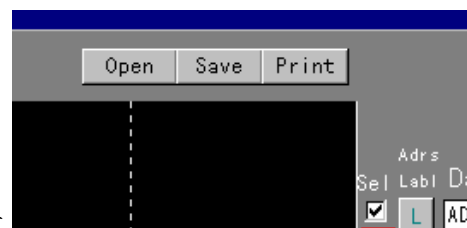
“<<”、“>>” ボタンによりカーソルを左右に移動することができます。



## 8. データをファイルに保存

掃引停止中に、画面上部の“Save” ボタンをクリックします。

ファイル指定すると、その時点の画面が保存されます。



## 9. ファイルを開いて表示

掃引停止中に、画面上部の“Open” ボタンをクリックします。

ファイルを指定すると、過去にサーブされた波形が、表示されます。

## 10. 印刷

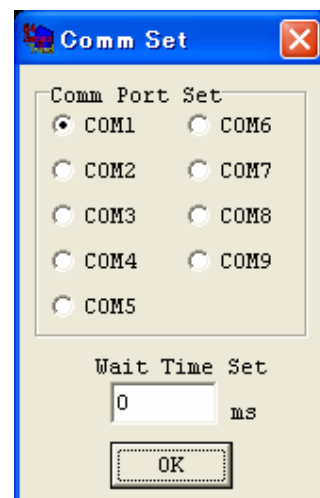
掃引停止中に、画面上部の“Print” ボタンをクリックします。

## 11. 通信設定

初期は COM ポート 1 に設定しています。

これと異なるとき、指定して下さい。

メインメニューから“System” - “CommPort” により、本画面が表示されます。



## 12. 終了

メインメニューから“File” - “Exit” により、プログラムを終了します。

以上

 **東洋電機製造株式会社**

<https://www.toyodenki.co.jp/>

本社 東京都中央区八重洲一丁目 4-16 (東京建物八重洲ビル) 〒103-0028  
産業事業部 TEL. 03 (5202) 8132~6 FAX. 03 (5202) 8150

---

**TOYODENKI SEIZO K.K.**

<https://www.toyodenki.co.jp/en/>

HEAD OFFICE: Tokyo Tatemono Yaesu Bldg, 1-4-16 Yaesu, Chuo-ku,  
Tokyo, Japan ZIP CODE 103-0028  
TEL: +81-3-5202-8132 -6  
FAX: +81-3-5202-8150

---

**サービス網**

**東洋産業株式会社**

<https://www.toyosangyou.co.jp/>

本社 東京都大田区大森本町一丁目 6-1 (大森パークビル) 〒143-0011  
TEL. 03 (5767) 5781 FAX. 03 (5767) 6521

---

本資料記載内容は予告なく変更することがあります。ご了承ください。